

報告日 令和7年11月25日

報告回次 3日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	羽曳野市青少年健全育成推進協議会			代表者名	田中 久雄
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	生涯学習部 次世代育成課	連絡先電話番号	072-947-3906
担当者役職	主査	担当者氏名	池嶋 冴香	連絡先E-mail	
住所	5838585 大阪府羽曳野市誉田4-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	羽曳野市教育委員会事務局	連絡先部署	生涯学習部 次世代育成課		
担当者氏名	池嶋 冴香	連絡先電話番号	0729581111	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	SNS時代の子どもたちを守る ネットリテラシーと危険回避		
概要	各小学校区の青少年健全育成推進協議会員、青少年指導員、児童民生委員、PTAなどの地域の方々を対象に、子どもたちをSNSやインターネット上の危険から守るためのネットリテラシーについて、現状や課題を踏まえた内容を教えていただきたい。				
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 教育情報化／情報教育 子育て				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	616	令和7年11月17日	講演	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月12日	フォローアップ(オンライン)	13時30分	14時00分	
				活動時間（分）	30

2-2.

派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	栗津 千草
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	アンケートの集計結果をもとに、参加者の現況の把握や、今後地域でデジタルリテラシーを高めるために、どのような研修を行うと効果的かということについて確認できた。
アドバイザーへの要望事項	協議会員の主な年齢層が子どもの利用方法をさらに理解するために、ご自身のスマホを利活用する講座などについて、実施機会が得られれば協力してほしい

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	1人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	1			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	コロナ以降、子ども同士の交流の「ネット化」が一層進み、見守る立場の協議会員や、指導員、民生委員がどのように関わればいいのか悩んでいる。 また協議会員や、指導員、民生委員の中には、ネットに不慣れなメンバーもいるため、知識の向上が必要。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	子どもたちのネット利用実態を知る そのうえで、見守る立場としての関わり方を考え、共有する

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	11月6日の研修後アンケートの結果をもとに、現況の把握と、今後のデジタルリテラシー向上について検討を行った	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	◆アンケートの下記の回答より、今回の研修の目的①「子どもたちのネット利用実態を知る」という目的を達成できました ・使用時間について長いことに驚いた。写真の画像検索の精度の高さに驚いた ・お話を聞く中で「あ〜、確かに！！」と思うことがたくさんありました。特に「トラブルに関するニュースを知らない子が多い」という話は、確かに「そーやね。気をつけていかないと」と改めて考えさせてもらいました ◆アンケートの下記の回答より、今回の研修の目的②「子どもを見守る立場としての関わり方を考える」という目的を達成できました ・私たちの子ども時代と違いすぎて、喧嘩の内容も難しくなっているなと思いました。SNSが「わからない」ではなくて子どもたちの興味、関心のあるものにもっと目を向けていきたいなと思いました。 ・もっと知る努力が必要だなと思いました ・子ども目線でスマホの使い方、時間などを体験して見るのも一つの方法と聞きなるほどと思いました ・子どもが投稿等をしてイジメがある。今までは子ども同士での問題であったが、今後我々の事を批判する投稿でデマによって追い込まれる場合があるかもしれないので、それを含んだの接し方をしていかなければならない	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	受講後のアンケート	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	受講後のご意見として、下記が挙がった。 ・小さい子どもの親向けに研修会をしてはどうか ・子育て中（乳幼児の子どもさん）の親御さんに聞いてほしい	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートに記載いただいたご意見の分析より、デジタルリテラシー向上には、継続的かつ全年代への啓発が重要だと認識できた。	
4ー3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	来年度以降も研修を行うため、今回の内容を参考としたい。 また、地域情報化アドバイザーより、協議会員の主な年齢層が子どもの利用方法を理解するために、ご自身のスマホを利活用する講座も有効との情報をいただいたので、検討したい。	
4ー4. 事業の最終的な目指す姿	子どもたちのネット利用実態を知り、見守る立場としての関わり方を考える	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」**を数枚程度貼り付けて下さい。

